

さいたま市総合振興計画審議会第1部会 第1回部会の主な意見について

- 分野別の議論も必要だが、総合的に議論して、各分野が連携して取り組むことについて、地域と行政で役割分担していくことが大切である。
 - 総合的に物事を考えることは大切で、場合によっては他部会の分野とも絡めながら、関連することも一緒に議論していきたい。
 - さらなるごみの減量化のためには、3R（発生抑制・再使用・再資源化）よりも原点に戻り、市民に発生抑制を訴えかけることが大切だ。最終処分場のことなど、行政が困っていることを表面化した方が市民の問題意識が高まる。
 - 市内で食べていける仕組み、人材が市内に残るような仕組みが必要である。
 - 地域とともに若い人を育て、円滑に就労につなげていく支援が求められている。
 - 大学生への就労支援をしても大企業への就職を目指す学生が多く、一方で市内には中小企業が多いため、ミスマッチが生じてしまう。
 - 経営者として多様な働き方を取り入れようとする制度や費用の問題が生じる。
 - 今までのような企業誘致でなく、クリエイティブ産業など他市とは違う新しい産業の創出を期待したい。
 - 住宅を集約するだけでは都市の経営はできないので、マンションだけでなく、一定規模以上の建物は複合施設にするなどの誘導が必要ではないか。
 - イベントのときは人が訪れるが、あまりお金を使ってもらえない。民間の力をうまく誘導する仕組みが必要である。
 - 単に情報を発信するだけでなく、まちをプロデュースすることが大事で、さいたまスタイルなど、有効な情報をいかにつくり発信していくかが大事である。
- ※ 第1回～第3回の部会でのご意見を踏まえ、事務局で計画素案を修正し、第4回の部会において提示する予定です。